

令和 4 年 12 月 27 日

那須南病院の施設整備の方向性について

那須南病院施設整備検討委員会

1 基本的な方向性

令和 2 年 3 月作成の那須南病院大規模改修基礎調査等報告書（以下「基礎調査」という。）において、実現性、経済性、迅速性の点から「大規模改修」「現地建替え」「移転建替え」の 3 案を示し、それぞれのトータルコスト評価や施設整備上のメリット・デメリット等を総合的に勘案し「現地建替え」を、より優位性が高いとしている。

令和 4 年度、当委員会において、基本的方向性の決定のための検証・審議を行った。

これらの結果を踏まえ、施設整備の方向性としては「現地建替え」とすることとした。

2 今後の課題と対応方法

基礎調査における以下の主要課題については、基本構想以降の工程の中で検討を行っていく。

- (1) 検査等の診療機能については、1 階部分に配置する必要がある。
- (2) 西側の隣地等にかかる日影規制について、建物の階層、形状等の検討をする必要がある。
- (3) 工事期間中の外来者及び緊急車両の動線並びに不足する駐車スペースの確保については、来院者の安全や利便性を考え検討する必要がある。
- (4) 将来計画の検討については、更に、次の建替えを視野に入れて策定する必要がある。

3 今後の進め方・その他

・地方公共団体として持続可能な地域医療提供体制を確保するため、令和 5 年度に「公立病院経営強化プラン」を策定しつつ、「栃木県地域医療構想」との整合性を図り、地域において果たすべき役割・機能を見直し、十分に検証した上で、施設整備に取り組むものとする。

・「那須南病院整備基本構想」の策定にあたっては、住民の意向・意識の把握を広く行うため、パブリックコメント又はアンケートを実施する。